

国土交通省海洋政策懇談会の設置趣旨について

1. 背景

- ・ 野田総理の所信表明において「海洋資源の宝庫と言われる周辺海域の開発など、新しい日本のフロンティアを開拓するための方策を検討する」とされており、政府として海洋政策の推進が求められている。
- ・ 海洋基本法に基づく海洋基本計画は平成 20 年 3 月に策定され、5 年を目途に見直すこととされている。

2. 問題認識

- ・ 世界第 6 位の広さと言われる領海及び排他的経済水域を有する我が国においては、広大な管轄海域を基盤とし、海洋の開発、利用、保全等を適切に進めていくことが重要であり、特に、広く海洋関連施策に携わる国土交通省にあっては、その果たすべき役割は大きい。
- ・ 海洋基本計画の見直しという節目を迎えつつある中で、国土交通省の海洋政策の取り組みを再度確認・検証し、今後の施策展開につなげていく必要がある。

3. 対応

- ・ 上記を踏まえ、国土交通省が取り組むべき課題及び施策について、海洋に関し知見を有する有識者の方々により幅広くご議論いただく場として、「国土交通省海洋政策懇談会」を設置し、5 年～10 年先を念頭に置いた国土交通省における中長期的な海洋政策の方向性を検討することとする。
- ・ なお、検討成果については、海洋基本計画など政府全体の計画等にも適切に反映していく。